

藤沢市社会教育委員会議
令和4年度1月定例会

議 事 録

日 時 2023年(令和5年)1月30日(月)
場 所 藤沢市役所本庁舎 8階 8-1・8-2会議室

令和4年度藤沢市社会教育委員会議1月定例会

日時： 2023年（令和5年）1月30日（月）
午前10時から

場所： 藤沢市朝日町1番地の1
藤沢市役所本庁舎8階 8-1・8-2会議室

1 開 会

2 議事録の確認

3 議題

(1) 「生涯学習ふじさわプラン2026」の進捗管理について

4 報告

(1) 令和4年度第2回生涯学習活動推進室運営委員会について

5 その他

6 閉会

前回の会議まで、生涯学習ふじさわプラン2021の最終評価結果報告書を作成いたしましたけれども、来年度からは生涯学習ふじさわプラン2026の進捗管理を実施していくことになります。

具体的な作業は、各事業の主管課から報告書が提出される5月以降となりますが、進捗管理の方法について事前に確認しておく必要があるということで、本日は議長、副議長と事務局で案を作成いたしましたので、皆様にご説明させていただき、ご意見をいただきたいと思っております。

事務局から説明をよろしく願いいたします。

事務局

資料1をご覧いただきたいと思います。

生涯学習ふじさわプラン2026の進捗管理について(案)ということでお示しをしております。従来のやり方としましては、各課の事業報告をご覧いただき、2021の場合は重点事業等を中心に、事業をピックアップし、グループに分かれてその事業を確認をしていただき、結果を報告書としてまとめて、各グループの報告書を最終案としてまとめ、評価結果報告という形で作成をしております。

2026につきましても、当初、議長、副議長と事務局では、同じようなやり方も視野に入れて、検討しておりましたが、二つの目的があり、今回、変更案を作成させていただきました。

1点目は、委員の皆様の負担が大きくなっていくということです。他の審議会等と比べても、社会教育委員会議の開催回数はかなり多くなっています。来年度も回数に変更はありませんが、その中で、進捗管理に占める割合が非常に高く、委員に直接集まって決めていただいたり見ていただいたり、進捗管理にお時間を頂戴した経過がございます。

そういった負担を減らして、その他の議論に時間を充てていただきたいというのが一つの目的でございます。

もう1点は、進捗管理で個別の事業を直接見てはいただくんですけども、社会教育委員として、全体的に包括的な、俯瞰的な形でのご意見を頂戴する場としていきたいということを考えております。

この2点を目的として、今回進捗管理の方法の変更を提案させていただきたいと考えております。

4月中旬には、生涯学習総務課から、各課に生涯学習ふじさわプラン2026の今年度の事業結果報告書の提出を求めてまいります。こちらは例年5月末を目処に、ご提出をいただいています。

今回の案では、まず、6月定例会において、各課から提出された事業結果報告書について、事務局から、内容をご確認くださいという形で説明をさせていただきます。

従来のやり方は、委員の皆様にご事業をピックアップしていただくという形でしたが、今回は、生涯学習部の各課から、各事業の事業内容と、課題等について説明をさせていただきますと同時に、プラン2026に出している事業の進捗管理についても、直接担当課から、皆様にご説明をさせていただく場を設けたいと考えております。

こちらをご覧くださいますと、【生涯学習総務課】と書いてありますが、6月定例会では、生涯学習総務課から実施している事業と課題、進捗管理について説明させていただきます。

8月はスポーツ推進課、9月には文化芸術課、11月には郷土歴史課、1月には総合市民図書館から、直接説明をさせていただく場を設けさせていただいて、その際に、各委員の皆様から質問事項やご意見をいただき、それを最終的に評価結果として取りまとめをさせていただいて、皆様に包括的に再確認をしていただいた上で、評価結果とさせていただきますということを、提案させていただいております。

進捗管理が社会教育委員会議での議論の全てではないので、毎回、会の時間としては40分、3分の1程度を、各課からの報告、およびご意見を頂戴する場とさせていただければ、コンスタントに各課の事業の内容を確認していただけるのかなと思っております。

今回こういった形の案を提出させていただいた理由は二つございます。

一つは、社会教育関係事務の移管についてです。

生涯学習部の各課の事業の移管についての議論をこれから進めていただくことになるわけですが、それに当たって皆様には改めて、各課が今どういった位置づけでどのような事業を行っているかというのを、知っていただく機会が必要だと考え、こういった形にさせていただいています。

もう一つは、進捗管理について、直接この担当課から皆様にご説明をさせていただき、ヒアリングのような形をとることで、より議論が深まるのではないかと考えました。

この二つの理由から、今回このような案を提出させていただきました。

なお、実施時期について、年間の計画として、あらかじめ日たちを入れさせていただいております。その他の事業等の予定の中で、変わる可能性もありますが、現時点で、少なくとも6回については、この日程で実施をさせていただきたいと考えております。

また、この中では6回とさせていただきましたが、予算的には7回を想定しております。

今後社会教育関係事務の移管や、部活動の関係など、皆様にご議論いただくものが多く想定されておりますので、この間にもう1回開催をさせていただくということも想定した上での日程になっております。

また、従来のように、委員の方で直接、各事業をご覧になりたい、各事業課の話を直接お聞きになりたいという場合がございますら、事務局が所管課と調整をさせていただいて、そういう機会を設定させていただきたいと思っておりますので、その際はお申し出いただければと思います。

事務局からの説明は以上でございます。

稲川議長

目的としましては、これから、諮問と意見を求められるという機会が出てくるということもあり、進捗管理ばかりに負担をかけないような形で、かつそれぞれの事業課の方から説明等を受け、進捗管理を同時に進めながらということで、このような方法を考えました。

今の事務局からの説明に対して質問等ありましたらどうぞ手を挙げてご質問ください。

三宅委員どうぞ。

三宅委員

プラン2026の進捗管理がこれからスタートするわけなんですけれども、各課から出てくる事業結果報告書の様式というのは全く従来型と同じ形で行うのでしょうか。それともう1回確認のために見るといふそういう様式自体についてはどうお考えでしょうか？

事務局

様式については、2021ではずっと同じ形でさせていただいておりました。ただ皆様からも、こういう項目があった方がいいのではないかなどのご意見があるかもしれないので、次回3月の定例会の際

に皆様にご覧いただいた形でお出ししたいということをお示しさせていただいてご意見をいただければと思います。

三宅委員

新たなスタートになりますので、変えなくても、確認を取っておいた方がよろしいかなと思います。
以上です。

稲川議長

他にどなたかいらっしゃいますでしょうか。
小笠原委員お願いいたします。

小笠原委員

6月の定例会では、事業結果報告書を各課から集めたものについて全体的な説明をしていただけたということで、出てきたものについては我々に配布していただいて、8月の定例会に向かって内容を読み込んで質問事項を取りまとめて、その後8、9、11、1月と行われる各会議で、直接各課から説明を受け、その場で質問をするというような流れということによろしいでしょうか。

事務局

事業結果報告書については6月の定例会でお示しをさせていただいて、6月から8月の間はメール等でのやり取りを想定しているんですが、この案でいきますと、直接事業の内容を確認していただくのが生涯学習部の各課のみになってしまいますので、生涯学習部以外の課等も中心に、委員の皆様から、事業の内容等について、疑問点や、こういうことを知りたいといったご意見がありましたら、6月から8月の間に取りまとめをさせていただいて、各課に照会し、その回答を、8月の定例会の前に委員の皆様を送らせていただいた上で、8月以降の定例会の中でご説明をさせていただきたいというのが今回の案でございます。

小笠原委員

生涯学習ふじさわプラン2026に84の事業が掲載されていますが、全ての報告が出てくるということによろしいですか。

事務局

84事業全てについて5月末までに報告を受けますので、その内容を6月に全て皆様にお示しをさせていただいた上で、生涯学習部の事業については、会議ごとに説明させていただきますが、生涯学習部以外の事業については、その報告書が報告の全てというこ

とになりますので、内容について更に追加でご質問いただきたいことがあれば、事前に頂戴して、こちらの方から照会をさせていただくということでございます。

稲川議長

他にご意見、ご質問があればよろしくお願いいたします。

これから社会教育関連の市長部局への移管などが入ってまいりますので、より生涯学習部各課の内容を、説明等を受けながら、どうしているかということも、会議の中でつまびらかにしていきたいというところもあります。今小笠原委員からのご質問もありましたように、それ以外の課への質問等は、事務局とその担当課の方と連絡を取っていただきながら、こちらの方に返していただくという形になると思います。

他にご質問ありますでしょうか？

～質問なし～

また3月に、このことについては検討したいと思っておりますので、今回はここまでとさせていただきます。

次に、4. 報告に移りたいと思います。

社会教育委員活動の報告につきまして、報告事項のある委員の方は報告をよろしくお願いいたします。

副議長よろしくお願いいたします。

瀬戸内副議長

生涯学習活動推進室の運営委員会に出席してまいりましたので、ご報告をさせていただきます。令和4年度第2回は、「令和4年度事業の実施状況報告について」が議題になっておりました。

推進室の中にいくつか大きい事業がありまして、放送通信講座、地域活動講座、ふじさわ探キョン講座、市民講師養成講座がございます。

放送通信講座第1期、「地名の不思議」ですけれども、これは放送通信講座でFM放送、およびインターネットで自宅にしながら学べる機会を提供するアウトリーチ型講座になっております。

放送がこの時期に入りましてスクーリングもある対面で、現地で皆さんと集いながら学習をしていくというコースです。

このコースのテキストの申込者数は、委員会の時点では254名、スクーリングの申込者数が44名で、スクーリング時、実際参加されたのは17名で、非常に人気が高いコースだと思います。

社会教育委員会議でもウィズコロナということで、いろんな議論がされてきたと思うんですが、この事業は、オンラインもあるし対面も実際できるという、ウィズコロナ時代にモデルケースになりうる事業なのではないかと思いました。

放送通信講座第2期、「藤沢の生き物～大学生たちも語るその魅力～」ですけれども、テキストの申込者が79名、スクーリングの申込者数が12名、実際参加されたのが9名です。第1期に比べると少なくはあるんですが、その会議の中で有意義だなと感じた部分は、日本大学の生物資源学部の先生と、学生と一緒に講座を作ったもので、大学の先生は、学生が伝える側、講座を作る側として参加したことが非常に有意義だったと仰っていました。学生側の意見として、今までDJをやってみたかったとか、会議でもいろいろ話が出たと思うんですが、青年層の方をどうやって取り込んでいこうかが非常に難しい部分ではあるんですが、そういった意味で大学生という、青年層の学びに繋がったという意味では非常に意義深いものだったのではないかと思います。

放送通信講座第3期「クラシック音楽紀行」なんですけれども、これは人材バンク登録者の方が実際演奏なさったコースになります。これはテキストの申込者数が99名、スクーリングが40名となっています。このコースでは、LINEセグメント配信を活用した周知を行ったということで、社会教育委員会議でも、周知の方法ということに関しては、ご意見いただいた部分だと思うんですが、LINEセグメント配信や、ラジオのテキストにホームページにアクセスできるQRコードを貼ったりという工夫をしたそうです。委員の方からのご意見としては、コースが終了した後も聞いて学習ができるように、YouTubeなどでアーカイブ化した方が良いのではないかとか、テキストを申し込んだ方だけではなく、YouTubeにアクセスした人数を追ってカウントしていくことが今後必要になってくるのではないかとのご意見も出ていました。

地域活動講座第1弾「50代、小さく試すならイマ！」です。

社会教育委員会議でよくミドルエイジ、勤労世代という言葉も出てきましたけれども、藤沢市では参加が難しい世代と言われるミドルエイジの世代の参加が、比較的多いように感じます。今回の講座も、全部で38名の方が参加されていて、うち60代の方が2名で、他の方は50代だったそうです。このコースの非常に面白いなと感じたところは、この39名の中の10名が昨年参加された方だそうです。その10名の方が率先して、自らグループLINEを作って、懇親会を開いたり

して、グループ活動を自ら続けていただくことができたそうです。この地域活動講座の目的は、地域コミュニティを活性化するために30代から50代のミドルエイジをターゲットに、地域人材の掘り起こしや、地域で活躍できる人材を育成することを目的としておりますので、まさに10名の方が、自らオーガナイズしていき、ミドルエイジの活躍の場を続けていったという点で、魅力的な講座になっているのではないかなと思いました。

地域活動講座第2弾「50代、これも私の生きる道」です。1月21日と2月4日土曜日に行われます。1回目と2回目にそれぞれロールモデルの方が2名ずつ出られて、2回目は小笠原さんになると思うんですけれども、ロールモデルの方はプロの方というわけではなくて、受講者の先輩となる方が出てくださるそうです。先輩方の活躍しているものを実際聞くことができるので、受講者の方も安心して学べるというところが魅力のコースになっているそうです。委員の人からは、今後こういうものを自らクリエイティブしていってくれるファシリテーターになりうる人の発掘ができるといいですねという意見が出ていました。

ふじさわ探キュン講座第1弾「地形から見る藤沢、昔から今を知る」です。

ふじさわ探キュン講座というのは、藤沢市に転入してきてまだ日が浅い人など、藤沢をまだ知らない人たちに対して藤沢の取り組みについて学ぶ機会の提供ですとか、地域活動に一步踏み出すステップとするための事業です。日付も木曜日なんですけれども、設定が夜の7時から8時半でZoomということなので、働いている方とか子育て中の方が参加しやすいコースです。

ふじさわ探キュン講座第2弾「知りたい！撮りたい！広めたい！ふじさわのもぎたて魅力発信講座」です。

これも藤沢に住んで間もない方をターゲットにしている、日にちは土曜日で設定しています。場所が井手農園、白旗神社、遊行寺となっていますが、いろんなところをグループで回って、最後に行事のところでグループ分けして、自分たちが撮った写真をシェアして、参加者同士の交流ができるように設定されています。もう一つここで面白い話が伺えたんですが、実はこの講座は担当の課が全部違うそうです。様々な課と一緒に授業を作ることで、担当課同士の裾野を広げるという意味もあるということでした。

「必ず役立つ！市民講師養成講座」です。当日あまり人材バンクの話は出なかったんですが、ふらっとフラッグというのがあって5月か

ら3月で偶数月は木曜日と土曜日、奇数月は水曜日と土曜日の2回
ずつになってます。

講座はどれもクローズしたことはなく、参加者が少なくても必ずオ
ープンしているそうです。委員の方からは、他の講師の講座に講師
が参加することで、講師同士の学び合いにもなるし、人数が少なく
ても開催するという非常に大きい意義があるということで、今後も
ぜひ定期的に必ず開けるようにしていただきたいと言っていました。

以上です。

稲川議長

瀬戸内委員、ありがとうございます。何かこれに関してご質問等
ありますでしょうか？ご報告ありがとうございました。

他に委員の活動でご報告ある方いらっしゃいますでしょうか。

特に今月はないということで了解いたしました。

続きまして、4のその他に入りたいと思います。

委員の皆様から何かありますでしょうか？

西尾委員、どうぞお願いいたします。

西尾委員

以前も配布させていただきました、VOLUNTEERSという、ボランテ
ィアをしてみたい方の背中を押すようなフリーペーパーを藤沢市民
活動推進センターの方から発行しておりまして、最新号が出来まし
たのでお配りさせていただきました。

ボランティアを体験した若者たちのインタビュー、あとはボランテ
ィア募集情報を40件ほど掲載しておりますのでご興味あればお読み
いただければと思います。

以上です。

稲川議長

何かこれに関してご質問等ありますでしょうか？ご報告どうもありが
とうございました。

他に何か委員の皆様からありますでしょうか？

ないようでしたら、次の定例会について事務局の方からよろしくお
願いいたします。

事務局

次回定例会は、3月27日、月曜日の午前10時から正午の予定で
す。皆様には、定例会のおおむね2週間前に開催通知と今回の議
事録を電子メールでお送りします。その際に議題や会場等につき
まして、また改めてご連絡させていただきます。

稲川議長

これで1月の定例会を終了とさせていただきます。

***** 午前10時40分 開会 *****